

# 日 本 史

## 注 意

1. 問題は全部で13ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。文字は楷書で丁寧に記入すること。
4. 問題冊子の余白等は適宜利用してよいが、どのページも切り離してはいけない。
5. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

### マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その1)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答が1のとき)

1	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり、折り曲げたりしないこと。

I 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

日本列島は四方を海で囲まれているが、決して孤立していたわけではなく、古来より海路による交流が盛んに行われていた。

縄文時代では、丸木舟による遠隔地との交流が行われたが、弥生時代になると、青銅器などに船を描いたものが出てきて、海上技術が発達し、本格的な船が出現したことが分かる。さらに、漢の武帝へ使いを送って中国系文物を移入し、1世紀には倭の小国が後漢の光武帝に朝貢し、中国と交渉をしていた。倭国大乱を経て、盟主となった卑弥呼は中国の王朝への朝貢で与えられた権威により、国内をおさめた。

4世紀、朝鮮半島では  ・新羅・百濟・伽耶の諸国が成立し、せめぎあう。対して、日本列島では、大和地方の王を盟主とした政治的な連合体であるヤマト政権が、朝鮮半島北部の  の南下政策により、軍事行動を引き起こしたことで、朝鮮半島南部から、技術や文化、人材が多くもたらされ、渡来人がヤマト政権の内部に参画していく。5世紀になると、中国の南朝に、5人の大王が使者を遣わして朝貢し、倭王に封じられた。

飛鳥時代になり、倭国は中国を統一した隋・唐に遣隋使・遣唐使を送り、中国の政治システムを取り入れ、本格的な国家形成が始まる。その後、律令国家が確立すると、中国や西域の国際的な影響をうけた天平文化が平城京を中心に栄えた。

8世紀後半に起きた安史の乱以降、唐の衰退が始まり、東アジアの秩序が崩れたため、894年の菅原道真の建言により遣唐使が廃止された。その後は、商人などの往来によって大陸とのつながりが続いた。

問1 下線部(a)に関連して、福井県若狭町にある縄文時代草創期～後期の貝塚では、丸木舟やヒョウタンの種子・果皮などの木製品や植物種子が大量に出土した。この遺跡名として最も適切なものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 夏島貝塚      ② 大森貝塚      ③ 津雲貝塚      ④ 鳥浜貝塚

問 2 下線部(b)に関連して、縄文時代における遠隔地との交流を示す遺物で、原産地と産出物の組み合わせとして、誤っているものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 黒曜石—阿蘇山
- ② 琥珀—姫川流域
- ③ イモガイ—南西諸島
- ④ アスファルト—北海道

問 3 下線部(c)に関連して、金属器に関する文として適切でないものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 水稲稲作が大陸から伝わった当初から、灌漑施設や木製農具・工具とともに、鉄製の刃先がついた鍬や鋤が普及した。
- ② 銅鐸は朝鮮半島の鈴から日本で独自に発達したもので、徐々に大型化した。
- ③ 漢字で国語を表記した銘文がある金属器の一つとして、隅田八幡神社人物画像鏡がある。
- ④ 古墳時代中期以降、金属製の多彩な馬具が副葬品として見られるようになる。

問 4 下線部(d)に関連して、この時の使者が訪れた都の名を記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 5 空欄  にあてはまる国名を答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 6 下線部(e)に関連して、秦氏、東漢氏、西文氏は、有力な渡来系氏族として、渡来人を統率した。このうち、応神朝に来朝して東漢氏の祖となったとされる人物名を記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 7 下線部(f)のような方法で形成された支配体制を何というか、漢字4字で記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 8 下線部(g)に関連して、遣隋使や遣唐使などの説明として最も適切なものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 **4**

- ① 小野妹子は607年に「日出処天子……」の国書をもって唐へ渡り、翌年煬帝の答礼使である裴世清とともに帰国した。
- ② 犬上御田歙は、717年に玄昉らとともに、遣唐使として渡海した。
- ③ 旻は、学問僧として隋・唐へ留学した後、大化改新の際に国博士となり、高向玄理とともに国政に参画した。
- ④ 藤原清河は753年に唐から帰国する際、暴風でベトナムに漂着し帰れず、藤原仲麻呂らとともに唐朝に仕え客死した。

問 9 下線部(h)に関連して、律令では、五色の賤という賤民を定めたが、これに該当しないものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 **5**

- ① 品部            ② 家人            ③ 陵戸            ④ 公奴婢

問10 下線部(i)に関連して、正倉院宝庫には当時の東西交流を示す宝物が数多くおさめられた。この正倉院が当時おかれていた寺の名称を答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問11 下線部(j)に関連して、醍醐天皇の時代の出来事として最も適切なものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 **6**

- ① 律令体制の再建をめざして、天皇親政を実施し、902年に荘園整理令を出し、その後も班田収授を実施し続けた。
- ② 914年に三善清行が提出した「意見封事十二箇条」には、その頃の財政の窮乏と地方の混乱ぶりが指摘されている。
- ③ 『続日本後紀』や『古今和歌集』が編纂された。
- ④ 藤原氏が密告により菅原道真を失脚させ、大宰権帥に左遷したとされる安和の変の後、藤原氏が摂政・関白を独占し、国政を左右した。

問12 下線部(j)が自身の漢詩をまとめ、醍醐天皇に奏進した漢詩文集の名称を記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

II

次のA・Bの文章を読んで、後の問に答えなさい。

A 朝廷や幕府は、治承・寿永の内乱後、寺社の統制と悪僧の封じ込めに積極的に乗り出した。そして、それに呼応するかたちで登場したのが、<sup>(a)</sup>聖たちによる仏教革新運動である。

鎌倉では源頼朝以来、鶴岡八幡宮を中心に寺社(顕密仏教)の整備が進められたが、将軍九条頼経の段階ではほぼ完成し、<sup>(b)</sup>将軍護持の体制が整えられ、鎌倉大仏も創建された。しかし、宝治合戦で東密の鶴岡別当が失脚すると、<sup>(c)</sup>禅僧保護政策へと転換した。北条時頼は建長寺を建立し  を開山に迎えて本格的な宋朝禅の導入につとめたし、北条時宗は  を創建した。忍性も鎌倉の  を拠点に活動した。こうして北条得宗権力をバックに広範な活動を行ったのである。

問 1 文章中の空欄    にあてはまる語句を記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 2 下線部(a)の治承・寿永の内乱期に発生した出来事について、該当しないものを次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 源義仲が征夷大將軍に任じられた。
- ② 屋島の戦いが行われた。
- ③ 南都焼打ちが行われた。
- ④ 源為朝が伊豆大島に流罪となった。

問 3 下線部(b)に関連して、鎌倉時代の将軍について述べたもので正しいものを、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 源頼朝の孫実朝が殺害されて源氏による将軍は途絶えた。
- ② 源氏による将軍が途絶えると皇族将軍を迎えた。
- ③ 摂家将軍は摂関家から迎えられ藤原将軍とも呼ばれた。
- ④ 皇族将軍は承久の乱まで続いた。

問 4 下線部(c)に関連して述べたもので、正しいものを次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 北条時頼と三浦泰村が鎌倉で戦った事件。
- ② 安達泰盛とその一族が内管領平頼経らによって滅ぼされた事件。
- ③ 和田義盛が北条義時の謀略にかかって鎌倉で挙兵した事件。
- ④ 源頼朝死後、梶原景時が排斥され討たれた事件。

B 15世紀にヨーロッパで始まった「大航海時代」の波が、16世紀半ばに極東の日本にも押しよせた。1543(天文12)年、中国人倭寇の船に乗ったポルトガル人が種子島に上陸した。これが初めて日本にきたヨーロッパ人であった。当時の日本では、ポルトガル人・スペイン人のことを  とよんだ。それは彼らが東南アジアを拠点として、そこから日本に來航したからであった。なお、オランダ人・イギリス人のことを  とよぶ。

当時のポルトガル・スペインの海外進出は、貿易とキリスト教の布教を結びつけて進められた。キリスト教の布教は、 年、鹿児島に上陸したフランシスコ＝ザビエルによって始められた。宣教師たちは、当時の日本人が知的にも倫理的にもすぐれており、キリスト教を主体的に受け入れる条件が大きいと報告している。その教えは、精神的なよりどころと救済を求めていた人々に新鮮に受けとめられ、急速にひろがった。キリシタン大名の領国や、京都・安土などにキリスト教の教会が建てられ、キリシタン版とよばれる活版活字による出版や西洋画の技法による宗教画も作られた。

問 5 文章中の空欄    にあてはまる語句や数字  
(アラビア数字)を記しなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 6 下線部(d)に関連して、キリシタン大名の動向について述べたもので誤っ  
ているものを次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙  
(その1)を用いること。解答番号

- ① 大友義鎮は豊後の領主で、居城の府内は南蛮貿易・布教の拠点になっ  
た。
- ② 大村純忠は、長崎を開港し後に教会に寄進した。
- ③ 高槻城主(後の明石城主)であった高山右近は、禁教令によりマカオに  
追放された。
- ④ 南肥後の領主だった小西行長は関ヶ原の戦いで敗れ処刑された。

問 7 下線部(e)に関連して、安土・京都について述べたもので正しいものを次  
の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いる  
こと。解答番号

- ① イエズス会が大学コレジオを安土に設置した。
- ② キリスト教の教会堂、南蛮寺が京都に設置された。
- ③ 『洛中洛外図屏風』は安土の賑わいを描いた屏風として著名である。
- ④ 豊臣秀吉は京都の治安を守るため京都所司代を設置した。



問 8 下線部(f)に関連して、出版文化や書物について述べた文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、次の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 12

Ⅰ、オランダ商館長が幕府に提出した海外事情報告書「オランダ風説書」が初めて提出された。

Ⅱ 『天草版平家物語』が刊行された。

Ⅲ イエズス会宣教師編纂の辞書『日葡辞書』が刊行された。

- ① Ⅰ—Ⅱ—Ⅲ      ② Ⅰ—Ⅲ—Ⅱ      ③ Ⅱ—Ⅰ—Ⅲ  
④ Ⅱ—Ⅲ—Ⅰ      ⑤ Ⅲ—Ⅰ—Ⅱ      ⑥ Ⅲ—Ⅱ—Ⅰ

Ⅲ 次のA～Cの文章を読み、後の問に答えなさい。

A 1915年、日本は  が大総統を務める中華民国政府に対していわゆる「対華二十一カ条要求」を行った。背景には国家の膨張を「開国進取」の現われととらえる大隈重信の発想があったが、交渉は外相を務めていた  の主導で進められた。その内容は、山東省のドイツ権益の継承、南満州および東部内蒙古における「日本国ノ優越ナル地位」の承認、遼東半島租借地ならびに南満州鉄道の租借期限を99年延長することなどであった。日本は、軍事力をちらつかせながら中国にこれを受け入れさせたが、政治財政軍事顧問として日本人を雇用することなどを求めた「第  号」については、相手側の反対はもちろん、日本側でも無理との見方があり、最終的に撤回された。同号を入れたのは  であり、それは国内世論に迎合したものであったと言われているが、結果的には交渉を難航させたばかりでなく、同盟国であったイギリス、そしてアメリカの不信をも招いた。国内でも、大隈を首相に選んだ元老の  が「訳のわからぬ無用の箇条まで羅列して請求したるは大失策」と述べて批判していた。

問1 空欄  ～  に入る人名を答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問2 下線部(a)に関して、ドイツ植民地であったのを第一次世界大戦中に日本が占領し、1922年に中国に返還したのちも多数の日本人が居住した山東半島の都市の名を一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 青島                      ② 大連                      ③ 瀋陽                      ④ 旅順

問3 空欄  に入る語を以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 一                      ② 三                      ③ 五                      ④ 七

問4は複数正解があったため全員正解となります。

問 4 下線部(c)に関して、大日本帝国憲法下における首相の選出について述べた以下の文の中から、誤っているものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 元老が天皇に首相候補者を推薦したが、元老の地位は大日本帝国憲法に規定されたものではなかった。
- ② 両大戦間期には衆議院の与党党首が首相となる慣例が成立したが、この時期においても元老が首相候補者を天皇に推薦する方式は継続した。
- ③ 「最後の元老」と呼ばれた西園寺公望が死去すると、内大臣が「重臣会議」を招集して首相経験者らに首相候補者を諮問する方法が採られるようになった。
- ④ 天皇が首相候補者として組閣を命じた人物は、必ず首相に就任した。

B 1919年に開催されたパリ講和会議に、日本は戦勝国として臨んだ。そこで主張したのは、山東省の旧ドイツ権益の継承、旧ドイツ領南洋諸島<sup>(d)</sup>の割譲、そして  の撤廃であった。前二者については、イギリス・フランスなど列強が日本の要求を支持するとの密約を戦時中より交わしていたし、世論もこれを当然視する見方が強かった。しかし、戦闘のみならず講和会議もまた、各国がしのぎを削る舞台であった。中国<sup>(e)</sup>は、山東権益について、ドイツに宣戦布告していた以上、旧ドイツ権益は中国に直接返還されるべきであると主張し、またアメリカも批判に回ったため、結果的に継承を認められたものの交渉は難航した。また、南洋諸島については委任統治権<sup>(f)</sup>を得る形となった。さらに、 撤廃については、条約案に入らなかった。日本国内では、講和会議の難航を伝える新聞記事が世論を刺激し、猶存社を設立した  など、右翼の理論的指導者が活動する土壌が形成された。

問 5 下線部(d)に関して、この中に含まれない地域を以下の選択肢の中から一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 **16**

- ① マリアナ諸島
- ② カロリン諸島
- ③ グアム島
- ④ マーシャル諸島

問 6 空欄 **エ** に入る適当な語句を答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問 7 下線部(e)に関して、この時期の中国について述べた次の文の中から、正しいものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。

解答番号 **17**

- ① 対華二十一条要求によって結ばれた取り決めの撤回を講和会議で要求し、受け入れられた。
- ② 平和を望む国内世論の高まりによって、ヴェルサイユ条約への調印を行った。
- ③ 1919年5月4日に北京で行われた学生の街頭運動が拡大し、反日国民運動となった。
- ④ 講和会議当時の中華民国(北京政府)では、孫文が首脳に返り咲いていた。

問 8 下線部(f)に関して、日本の南洋統治について述べた次の文の中から、誤っているものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号 **18**

- ① イギリス・フランス・アメリカ・ソ連からの委任を受けて統治した。
- ② 日本は南洋諸島の統治のために、南洋庁を設置した。
- ③ 南洋諸島開発のためにサイパン島を本拠地とする株式会社南洋興発が設立された。
- ④ 旧ドイツ領であった太平洋の島々については、日本のほかにイギリス・オーストラリア・ニュージーランドが委任統治の受任国となった。

問 9 空欄  に入る人名を答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

C 1920年代の「協調外交」は、列強と協同して中国の權益を分け合うという意味合いを持っていた。いわゆる幣原外交が中国に対する不干渉主義を掲げていたにもかかわらず、経済的な懸案で非妥協的であったのはその表れであった。<sup>(g)</sup> 田中義一内閣は対欧米で協調外交方針を引き継いだのに対し、中国政策をめぐる<sup>(g)</sup>は強硬姿勢に転じた。3次にわたる山東出兵では第2次出兵の際、都市  を舞台に国民革命軍との間に武力衝突を起こした。国民革命軍の国権回収運動が満州へ及びそうになるなか、その阻止を目指して関東軍による張作霖爆殺事件も引き起こされた。それは1931～32年の満州事変につながったが、世論・マスコミは軍の行動を支持した。その後、関東軍は満州のみならず <sup>キ</sup> 華北をも支配下に収めるべく分離工作を行い、やがて日中の全面戦争へと発展<sup>(h)</sup>した。1940年、日本は中国に  を首班とする傀儡政権を樹立して戦争終結を図ったが、これは弱体であり失敗に終わった。

問10 下線部(g)に関して、日本の経済進出とその結果について述べた以下の文の中から、誤っているものを一つ選び、マークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 日本の紡績会社等は低賃金労働力を求めて中国で工場を経営したが、これを在華紡と呼ぶ。
- ② 中国における日貨排斥運動は、在華紡を主要な標的とした。
- ③ 1925年に発生した五・三〇事件は、在華紡労働者のストライキを発端としていた。
- ④ 五・三〇事件以来反帝国主義の機運が高まり、張作霖政権による北伐が開始された。

問11 空欄  に入る都市名を答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問12 下線部キに関して、こうした世論にもかかわらず、一貫して「小日本主義」を掲げ、植民地主義を批判した言論人で、戦後は首相にも就任した人物の氏名を答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。

問13 下線部(h)に関して、華北分離工作について述べた以下の文の中から、誤っているものを一つ選びマークしなさい。解答用紙(その1)を用いること。解答番号

- ① 1933年の塘沽停戦協定で、河北省の冀東地区から日中双方の軍が撤退し、非武装地帯とすることが決められた。
- ② 華北分離は関東軍の独断によって進められ、日本政府は一貫してこれを国策とみとめなかった。
- ③ 日本側が華北と呼んだのは、チャハル・綏遠・河北・山西・山東の5省である。
- ④ 関東軍は華北に傀儡政権である冀東防共自治委員会を樹立し、国民政府からの分離の促進を図った。

問14 空欄  に入る人名を答えなさい。解答用紙(その2)を用いること。